

# 睡眠時無呼吸症候群 外来

## 睡眠時無呼吸 症候群とは？

睡眠時無呼吸症候群は、睡眠中に何度も呼吸が止まったり浅くなる状態を繰り返す病気です。高血圧や不整脈などの心疾患、糖尿病などの生活習慣病を引き起こしやすくなります。  
日中の眠気により仕事や車の運転に支障をきたす場合もあります。

こんな症状はありませんか

大きないびき

日中の眠気

起床時の頭痛

熟睡感がない

## 受診のご案内

診察は完全予約制となります。

### 診察時間

毎週水曜日 午前診 9:00 ~ 11:30

担当医師 高田 實 阪和第二泉北病院 院長補佐  
錦秀会グループ感染対策委員長  
井本 和紀 大阪公立大学医学部附属病院 感染症内科

### 予約方法

お電話にてご予約ください。

TEL **0120-787-500**

(受付時間：平日 9:00 ~ 17:00)



〈検査機器〉



〈CPAP〉

## CPAP 療法に期待される効果・影響

- 多くの研究によって、中等～重症 OSAS に対して治療効果が示されています。
- その他、CPAP による影響も報告がされています。

### CPAP（シーパップ）療法とは

睡眠時無呼吸症候群（SAS）の一般的な知識としては肥満や首が太い人で就寝中に呼吸が止まっている閉鎖性睡眠時無呼吸症候群（OSAS）があるが、じつはそれだけではありません。

実際にはやせている人や、首が細い人でも安心はできません。現代では大変危険な病気のひとつとして徐々に明らかになっています。

重症患者にはCPAP療法が治療の第一選択となっています。

CPAP治療後には無呼吸・いびきの消失・安眠・日中の眠気の消失・夜間頻尿の減少・高血圧、不整脈の軽減・糖尿病の改善・心筋梗塞や脳卒中などの合併症予防・寿命の延長等の様々な効果に期待が出来ます。

### CPAPに期待される効果

- ✓ 無呼吸・低呼吸・いびきの消失
- ✓ 低酸素状態の改善
- ✓ 睡眠の質の向上
- ✓ 日中傾眠の解消

### OSAS改善による影響

- ✓ 合併症の予防・改善
- ✓ 生命予後の改善
- ✓ 交通事故リスクの軽減
- ✓ 心疾患イベントの減少

### — 診療の流れ —

外来にて診察



検査入院決定



検査入院当日

- 夕方入院、入院説明、バイタルチェック
- 夕食
- 検査機器取付け
- 睡眠（検査）
- 起床 検査機器取外し
- 朝食
- 退院 会計……検査入院費用  
3割負担で約3万円



検査結果説明

- 後日、検査結果の説明
- CPAP導入になれば、月1回の  
外来受診